

バス・トス・週報

第1563号 昭和五十二年五月二日
月旺日発行
Diretor Koiti Mori
Redator Shohō Miyatake
Rua 10 de Novembro 882
C.Post.112 Fone 340
BASTOS E.S.P.
Anual Cr. # 110.00 金
前 Adiant.

老人工スクルソン



18

漫流

○ひと口に老人といつても筆者のように杖にすがってやっと歩くよばよば爺さんも居れば、八十歳の高齢でサンパウロへも一人で行き、トロンバジンニヤを突きとばすばかりの身軽な日婦さんも居る。というわけだから、そういう健康な老人はかりで一寸した旅をしたら面白いだろうと考えていた。老人を混えた家族ばかりの旅行は珍らしくない。三人、五人の気心のあつた男性ばかりの旅というのも別に珍らしいことではない。組合員ばかり、又は婦人会ばかり、というエスクルソンはよくあるが、老人ばかりというのはこれ近一度もなかつた。

しかし、バス・トスに「明老会」というクルベが出来たのだから、企画さえすれば、やれることはなからう。

○各地の老人クラブ、ことに聖市附近では一泊又は日かえり旅行の手頃な場所が多いので、すでに実行しているクラブの多いこともきいている。

○去る二月中旬、バス・トス明老会の世話人数名集合して「老人工スクルソン」の企画を練つて四月上旬実行と決定、直ちに週報で発表、希望者を募ることにした。

○目的地はキロンボ温泉、土旺日の朝弁当を持って出発、正午頃到着、入浴してその夜ホテルに一泊、翌日旺日は昼食後二時頃キロンボ出立、午后五時ごろ帰着、市役前のオニバスをたのみ、車代、ホテル代共二五〇・〇〇、人員は三十六名までこれが使用者募集の広告内容であつた。

○さあ、しらはい(いらつじやい)おひとりさんかいな、いや、家内と二人だ、いいお二人さん、まいどありイ!!! ごっぱり申込みがあらへんかな。これが満員になるのに、金とるんやさかい、むりないわ、そやかて金もうわなんたら明老会破産してしまうがな!!。あ、また一人来た。いうはい、へいお一人さん。

○ま、ざつとこんな調子でやつと満員になつた。期日が少々延期して出発は四月十六日、土旺日午前八時十分、口ドビアリオ前は老若男女で大賑わい。

何たい、老人の中に若く居るのかい。あと付添いも居るからね。しらべて見ると、女二十三人、男三人、断然女性優位。車中の賑やかなこと、腹の皮をよじつて笑うので忍ち空腹となり、バブルー布を一寸出たところでお弁当。キロンボ着か十二時半、部屋がきまとると、早速入浴。浴場が一寸遠いのが玉にきずだが、ラジウム鉱泉なので、浴槽につかる

FLORA BASTOS
T.MORIMOTO & FILHOS LTDA

Rua Duque de Caxias 524, C.Post.171 Fone 29 Bastos

森元苗本舗

電話 一一九番

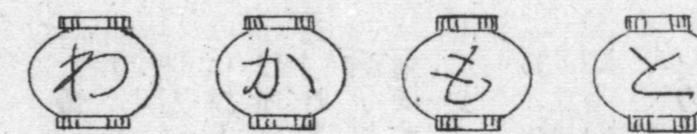
と身体中肌はつるつる、一人入浴しても流してしまうのは勿体ない程のきれいな湯である。浴室も広くて清潔だ。キロンボに初めて来た人もあるが、これで二度目、三度目という人もかなり多く、明老会は四十名近い団体客というので、入浴料は取らない。そのせもあるか、うんとつかつて身体の養生にしたいと、三回も四回も温泉につかる。そんな方に入りたいと、皮膚がとけてしまわないかと心配すると、面の皮じやないが千枚張りだと大笑いだ

WAKAMOTO

消化 不良 食欲 不振

MÁ DIGESTAO INAPENCIA
ENZIMAS + COMPLEXO B + MINERAIS

百倍強力



UAKA

蜂蜜入り わかセツケン
純植物性 わかボマード
お肌の栄養 わかクリーム

贈答用に最喜ばれるわか化粧品

八岳、九岳、こうこうも御馳走の大御馳走である。こんな時誰込んでおけと頑張つて見るが、そうはない。何分老人の胃袋だから、うらめしそうに、勝手ばかり。翌日の昼餉もマリオナードに鶏や豚のアッサード、いや、ホテルのサンドビスといい、二回の「ミーダといい、ま、十二分というところがいました。

○やあ、よかつたね。面白かったね、と充分満足してもらつたことは世話人一同、世話甲斐があつたと大喜びで、帰途はお土産に鉱泉の嵌入りを買い込む人が多かつた。二日とも秋晴れ、老人エスクルソン大成功であつた。

系 音

四島をとられたまるか

前回にも北洋漁業問題にふれたが、日ソ漁業協定は、やはソ連の一方的かんぱりで協定がつかず一時中止となつてしまつた。勝手に占領した千島の周辺に二百浬の線を引き、一歩もゆづらない。その二百浬線をみとめれば、四島はソ連のもの也、ということを日本は承認することになるので、去る四月七日、福田首の代理役として園田官房長官がソ連にかけ行きコスイギン首相と会談をして、お手承かにと打診して見たが効果はなかつたようだ。

そのあと鈴木農相とイシコフ漁業相と協定を再会したがソ連水域の解釈は同じこと。

○ここでいくらがみがみ言つてみたところを伺のたしにもならぬが、不條理なソ連の主張を認めぬかぎり漁業問題は暗礁に乗り上げである。福田首相の正念場だ。いくらソ連は、千島四島はヤルタ協定の約束によって占領したものだと主張しても、日本としこそれを承認できる筈はない。北洋漁業問題は日本にとって大痛手だが、四島を見棄るわけにはしかぬ。やむを得ず会談を中心化し、水を入れて再びとり組むことにならうが、福田内閣の命取りにならぬとも限らず、重大な問題となつて来そうだ。

「日ソ友好のため」などと園田長官が云つたら、コスイギンは「そんなうまいこと云つたとて、その手にのるかは」といた返答だつたと云うが、アメリカ一辺倒政策や、ミゲ25事件のいわゆるいわれて、日本はソ連から云うと、まさに「きまを見た」ことになる。

バストスの

柑 橘 を 守 ろう



系 音

柑橘類の大敵カソクロ、ントリコがバストスのすぐ近くまで侵入しここにいる。去る三月下旬マリリア市のカーサ・ラボーラの技師がイアクリ管内のリモン及びポンカンを調べた処

INSTITUTO DE OFTALMOLOGIA DE TUPÃ

Clinica Cirurgia de Olhos
Prescrição de óculos Lentes de contato

Dr. Isac Umino

Dr. Luiz Carlos Alves Negrao

Rua Carijós nº 278 - TUPÃ - Fone 2903 E.S.P.

DR. DR.

DR. レイスカルロス

アルベスネグロン

ツパン市電話二九〇三番



眼科専門医
ツパン市ロドビアリオ前に診療所を開けました。バストスへ出張が不可能になりました。

つきましては中の方、診察希望の方、眼鏡の度測定の方はツパン市まで御足勞下さるようおねがい申上げます。

午前八時より十二時まで
午後三時より六時まで
外は毎日

尚 INPSも受付けて
ります

午前八時より十二時まで
午後三時より六時まで

外は毎日

ツパン市ルアカリジョスニセハ番地
ロドビアリオ前

マリリアの技術からイアクリ管内のカソクロ病被害状態を聞き、バストス管内のカソクロ予防について注告を受けた。

○これまでバストスには柑橘病予防について特に連絡する機関はなかつたが、イアクリ地帯に於いてカソクロ病を発見したので大騒ぎとなり、イアクリ地方はパラブアンのカアーナ、ラボラガウ柑橘類の伐採をはじめた。イアクリ市長は直ちにバストス市役所に移さずイアクリに赴き、プレフェイツーラに於いてマリリアの技術からイアクリ管内のカソクロ病被害状態を聞き、バストス管内のカソクロ予防について注告を受けた。

○ここで四月の初旬、柑橘関係者に連絡し、会館にしてバストスの柑橘を護るために予訪委員会なるものを組織した。その時委員長も選出されたが、バストス内からカソクロ病を出さないようにする爲には、第一に柑橘樹の消毒を履行するのは勿論だが、もし樹勢の弱つているものや、葉の色のあやしいのがあれば、その樹を伐採して焼却してしまつとか、中にはポンカン畑がカボイアになつている処などは思い切つて伐つてしまふことなどを申し合せた。由であるが、とにかくカソクロ病予防委員会というものは一応出現したのである。

○しかし、ここに一つむずかしい問題が発生している。「現在異状のない樹、自家用のラランジヤまで代ることはないとたろう」と言う苦情である。異状がないから幸いであるが、万が怪しい樹があつたら大

変である。まことにしていると、バストス中のポンカンが全部伐採されることにならぬとも限らず。病気が出ない樹まで切られるのだから、所有者個人としこの損害は勿論莫大だが、「バストスの産業」として受ける損出は筆舌では表現しかねるものがある。

○ カンクロ病に犯かされている樹は、初期の中は素人には発見しがたいもので、それか一見して病樹と判明できるようになつては、すでに手ぢくれで、あたり一面に伝染するおそれがある。かりに早期に発見しても、所有者が伐り捨てる心がないならば、附近の人ももちろん、委任員といえども勝手に伐採するわけにはいかないし、他人の烟へ立ち入つて病気の有無を調べる権限もないわけだ。調べる権限のあるのはカーネザ、ラボウラの技師だけである。技師調べて病樹を見出されば、否も忘もない、伐り捨てられてしまう。

○ むずかしいのは、この点である「バストスの柑橘を守れ」と絶叫しても、協力の意志がなければよそからとにかく文句のつけようもない。たとえば、ポンカン樹を沢山もつてゐる人は、自分のポンカン烟を護るために、キンタール数本植えている柑橘類を目の敵にして切らせようとしている、と抗弁するであろうが、自家に病樹がない限り、それは理論としては間違つてはいない。

しかしカンクロの出やすい樹は既して、手入れの届かぬ、消毒もしたことのない、ほんの自家用のりモン樹のようなものが、かかりやすいつのである。消毒の行き届いた柑橘は、消毒しない樹に較べて一眼で判るくらい気持ちよい色艶をしているものだ。

○ 尚、伐採希望者は、自分の費用でなく、連絡すれば市役所(委員会のある場所)から人夫を派遣することになつてゐる。

ま、怪しい樹はなくとも「バストスの柑橘を守る協力のため伐採してしまることは惜しいけれども、中にはポンカンで生活している人もあるのだから、理論ばかりで押し通すことも罪なことであろう。

○ 扱角バストスの一産業として、ここまでひて来た柑橘業を殺してしまいたくないものだ。

糸音

寄稿 海の魅力 梶山双樹 2

此のイリア・ホルジマーの小さな島の麓から頂上にまである幾つかのアパルタメントに毎日暮してい人の連もあるのであつて、建てば結構売れるものうし。広々とした奥地に住む者にとってはちょと理解し難い車両ではあるが、加農これが現今文明社会の構造と云ふのかも知れない。

モントマラツチの山はサンントス港や、ペトロ・ブラジルに北方の空模様が怪しくなつて来た。予定しているモントマラツチの登山は不可能かも知れない。それでも思い切つて車を廻わして見ると、高麗に山は晴れている。

スを眼下に見下だしてゐる海拔二百メートルの高い山である。登山者は垂直に近い様なこの山の急坂をただ一本のワイヤ、ロープに依つて引き揚げられる。登山電車に乗らなければならぬ。駆走高く様な急坂を登る時のそのスリルと云うか、其の冒険的な野心に遠るのが登山者にとつて、又何とも言えない魅力となつてゐるのである。

十数年前一度登山したことがあるが、こんど久しぶりに登つて見ると、昔日の面影は全くなく、秀山たつた辺には樹木が植り、コルコバードの登山の様に、原始林を分け登る様な雰囲気を残さかでも配慮して、心に遠いのが登山者にとつて、又何とも言えない魅

山父用中國藏御不幸の際奉運送とて御寄贈を賜り
誠にありがとうございました。厚く御礼申上げます。
サウニテ

一金一封也 御 礼

田中秋晴様 平井シゲル様 バストス明老会

故平井熊幸様三周忌法要記念として御寄贈下
され、ありがとうございました。バストス明老会

Organização Social de Luto A Regional

Rua Ademar de Barros n° 295, Fone 361 Bastos E.S.P.

Residencia no Local. Faça Bastos crescer prestigionado seu
comercio sobre direção de aparecido feliano ribeiro
EX. Funcionario da Funeraria SÃO PEDRO
artigos funeraria prestação serviço. Flores, Coroas, Velas
Hossenko, Hibai, e artigos para UMBANDO em geral.
Atendimento pelo INPS. e FUNRURAL. Atende-se dia e noite

葬具店 フネラリア サンペードロ

後藤さんのがソリンポストの向い側で開業して居ります。高級棺の外花、花輪、ローソク、線香、位牌等仏式の用意し揃つてあります。又昼夜受付て居ります。電話で御用命下さい。尚INPS受付致します。

バストス市ルア アデマル デバーロス295、電話三六一番

えて乗客の安全をモットーとした快適な登山を楽しめる様努力している当局者の誠意の程もうかがえる。登山電車はリオのコルコバードの登山と同じ方法で、上り降りが同時に発車し、坂の中腹ですれちかう、所謂天秤の原理を応用したものと思えば間違いない。

コルコバードは海拔七百メートルもあって、モンテセラツチの三倍もの高さがある。山の中腹には霧かかり、晴れの日は少いと云れ、見なれない高山植物など、変化に富んだ山の姿態に耳目を奪われてつい時の経つのも忘れて登つて行くのであるが、このモンテセラツチも此廻十年もすれば樹木も繁り、登山者をして、もっと楽しませてくれるようになるだらう。

○ 避暑に来て山を楽しむ初登山

○ 初秋やモンテセラツチの空高く

今日はセマーナの故か、頂上は開放としていて、土産物店も暇をかこうていた。

右にサントス港、左にペトロ・ブラス、ペトロ・ブラスは今油送船が着岸して油を降してゐる所だ。ペトロ・ブラスの遙か向うの山麓が、ブラジルの重工業を皆負って立つクバトン製鉄所のある処で、期せずして此廻から望まれる。三大施設は躍進するブラジルの将来を約束して實に頗もし限りである。

○ 秋晴や油送船つくペトロかな

眼下に見下すサントスの市街地は大西洋に向って南に扇の様に拡がつてゐる。水平線を航行している船影を望んでいる少年時代の自分に返つて寺の森から広漠たる大平洋の彼方を無心に望んでいる様な錯覚に捕われてゐた。

頂上には高い塔が巡らしある。何気なく覗いて見ると、眼下に広がるサントス市は富士を半分に切り取つた様な二百メートルもあるモンテセラツチの断崖絶壁を背にしている海岸都市である。

頂上のイグレージャに参拝してマキニスタの部屋を覗いて見ると直径四メートル、厚さ四十センチ位もあるだろう。十数年前、私達が下山した直後にリヤカが切れて、三十多名が即死する大惨事を起したことがあつたが、其の後当局者が登山者の安全には万全を期してゐるに違ひない。

○ 山歩き登山電車は尚軽し

下山すると、水族館へ直行した。水族館は市役所の経営で、内容も外觀も余り変り味のしないものだが、それでも来る度に一度は必ず參觀する事にして、イヤカが切れ、三十多名が即死する大惨事を起したことがあつたが、其の後当局者が登山者の安全には万全を期してゐるに違ひない。

又、夜は陣の途絶えるのを待つて別の人夫がアスルトの高压で感電死させると、珍らしい謎である。まさか腹中に發電機を呑み込んでいるわけではあるまい。まだその謎が解明されていないという、世にも不思

材木販売所

建築用材木一切を取扱つて居ります

その外、パテンテ(入口杆)タツコ・ポルタ、床板等も色々あります。

マテイラの購入と否とに拘らず、当店内を一度御覧下さい。

マテイラの購入と否とに
拘らず、当店内を一度御覧下さい。
アーヴィング・コンドル
マテイラ・コンドル

Depósito Madeiras Condor

Rua Almirante Alexandrino nº 184. Bastos S.P.

Madeiras serrados e aparelhados para todos fins.
Batentes, tacos, portas, assalhos, etc., pelo os melhores preços.
Visite-nos sem compromissos.

ルアルミニランテ

アレンマンドリノ

一八四番

アーヴィング・コンドル

マテイラ

コンドル

南米の天地に志を展べし人 仲尾權四郎氏の巻

著者 岸本丘陽氏

14

仲尾氏は、ブエノス、アイレスの町をあてどもなくうらぶれた姿で街路々々を仕事をたずねて歩いていふと、大きな製糸会社の建築場の前に差しかかった。見ると数百人の職工が効いてる。仲尾青年は何か其處に自分の仕事が有りそうに思えたので、中に入つて見ようと思つたが、門扉が厳重に鎖される。孰ろのと、どうしても入れない。周囲には幾段もの鐵アラメ（刺鉄線）が張り巡らされてある。向んでも中に入らなければ話にならぬので、一番下の段の針金と地べたの間を平蜘蛛の如く這つて宏的な建築場の中に入つて一心に仕事を見つめていると、独乙人の技師が中から出て来て、

「君は日本人だね、仕事をしてみたいのか」

「そうです。仕事をしたいのです」

「仕事にはやさしい仕事と難かしい仕事、即ち骨の折れる仕事があるが、君はどうの仕事を望むか」僕はどちらの仕事も同じです。やこしく見える仕事をたつて、やさしくは無いでしよう。困難な仕事だけ、やつてゆく理に困難でなくなるでしよう。僕にとつてはどの仕事だつて一つです」

獨乙人の技師は仲尾青年の顔を完璧に覗く程

と見つめていたが、

「此の仕事場には、世界各国の人間が効いてるが、日本人はまだ一人も居ない。君に一つ効いて貰おう」と仕事にありつく事が出来たのだ。仲尾青年は紛らかに、日本人はまだ一人も居ない。君に一つ効いて貰おう」と、仕事の後姿を眺みた。程遠しかつた。

「ああ、これで放られた。日本人がどんなもんか死物狂いでやつて見せるぞ」と心中で叫んだ。

仕事は鉄筋コンクリートの針金を繕る仕事で、他の人達が出来なくて放り出した仕事を一日やらされた。彼はこの手の痛む骨の折れる仕事を指先さや掌から血を流しながら一生懸命にやりつけた。

独乙人の技師は一日に二、三回やつて来て、目隠しもしないで仲尾の仕事を見つめていた。夕方帰る時に、技師に二ペソの日給を仲尾の手に渡させて、

「毎日から引続いてこの仕事に来て効いて宜しい」と云つた。

仲尾青年は自分一握のパンを得るなりの仕事だとは思わなかつた。世界の果てのアルゼンチンの国際職場に未だかつて一人の日本人も効いたことの無し日本人の実力かどんなものであるかを示すのだ。俺は一個の仲尾ではない。日本人を代表する者である。との決意を固く胸中に秘めて、仕事と取組んでいた。他の職工たちは、

「一番割の悪い人の捨てた仕事を掘まされて、彼奴は何だつてあんなに一生懸命に効くんだ。世の中を上手に渡ることを知らねえ馬鹿な野郎だ」と云つてわらう者もあつたが、眞眼の職工達は、

「あの日本人のやつた仕事は百年間ガラントだ」と云つて尊敬する者もあり、又中には小さな日本が口シヤに勝つたのは、あの勇敢と勤勉をもつことどんな

に辛いことでも止めなしでやり遂げてゆく精神がある爲だ。東洋の日本はきっと世界の日本になる日が来る。見るぞ。見ろよ。あの仕事に対する熱意をと云ふて心から尊敬する人が多かつた。

氣を作つてしゃべくれた。

徳は眠なうず、巡り巡つて必ず我が上に返り咲くものであらる。仲尾青年は一週間後、日暮れ人夫から正式從業員に採用され、次の仕事を与えられる事になつた。技師は設計図を示して渡し、直角、矩形のいろいろな形に鉄を切ることを命じた。此處でも今までの職工とちがつて、数学的に頭を仰かせ、正確な測定で仕事をやって見せたので、此の職場の「優良職工」と認定され、給料の一賃倍額の四ペソを貰つた。へ今から四十年前の四ペソは高給であった。建築場に何の経験もないズブの素人が、仕事を始めた。一週間に、四五年の熟練工同様に四ペソの給料を貰つたのは仲尾青年一人であった。千人の中の一人として幸えられた待遇であったが、彼は二つの問題について行き躊躇した。

一つは自己の将来の發展の問題であり、二は労働の後進の道筋の問題である。此の二つの問題に就いて脳みを感じた。自分は今非常な技術に預かって、いかに脳みを感じた。自分は今非常な技術に預かって、給料も増額されたが、他の諸物価も高いブエーノスでは結局食べて行くだけ残る所は少い。工業の専門教育を受けていない自分はどんなに出生して見たところで職工長止まりで、それ以上にはなれない。スカタの發展して行った所に後続部隊が來、先輩がそれを引き上げてゆく轟を作つてこそ先輩の仕事だ。以下次号へ

浪曲の夕に御招待

会員方の慰安にもと存じ浪曲の夕を催します

○ 日時 来る五月二十二日（第十四回）夜七時

○ 場所 バス・トス・綜合会館

芸題 大尉の娘・中野光 燕
父歸る・京山月若
ある日の乃木將軍赤石春若
出世豆腐・富士寿々夢

御注意

老人席は舞台近くに用意しております
付添人同席でよろしく
近所の老人達に知らせて上げて下さい
○ 尚一般の方で浪曲好きの方も入場して下さい
○ 席は老人のうしろです。御花は自由のこと
○ 入場無料

バストア明老会

リヌス浪曲会は聖市名人会に次いで、ブラジルでは、左等有名浪曲会に付き御期待下さい

各 位

1977年3月分 バストスの気温と降水量										部
項目	気温 °C	湿度 %	最高 気温	最低 気温	降水量 m.m.	風向	天候	雲量		
1	32.0	28.0	33.5	20.0	34.6	N	○	5375	3	32257785
2	28.0	25.0	33.7	21.0		E	○		3	32257785
3	27.0	23.0	33.4	19.0		E	○		3	32257785
4	28.0	25.0	32.8	19.0		E	○		3	32257785
5	30.0	26.0	33.0	20.0		N	○		3	32257785
6	30.0	26.0	33.5	21.0		N	○		3	32257785
7	31.0	26.0	33.6	21.0		N	○		3	32257785
8	31.0	27.0	33.6	21.0		N	○		3	32257785
9	30.0	26.0	33.6	21.0		N	○		3	32257785
10	32.0	27.0	33.7	21.0		N	○		3	32257785
11	32.0	28.0	33.6	21.0		N	○		3	32257785
12	32.0	27.0	33.7	21.0		N	○		3	32257785
13	32.0	28.0	33.6	21.0		N	○		3	32257785
14	31.0	27.0	33.6	21.0		N	○		3	32257785
15	34.0	29.0	33.7	21.0		N	○		3	32257785
16	33.0	28.0	33.8	21.0		N	○		3	32257785
17	31.0	27.0	33.4	20.0		N	○		3	32257785
18	28.0	23.0	33.4	20.0		N	○		3	32257785
19	33.0	27.0	33.7	20.0		N	○		3	32257785
20	33.0	28.0	33.7	20.0		N	○		3	32257785
21	28.0	26.0	33.1	20.0		N	○		3	32257785
22	27.0	25.0	33.2	20.0		N	○		3	32257785
23	23.0	20.0	33.3	20.0		N	○		3	32257785
24	24.0	21.0	33.3	20.0		N	○		3	32257785
25	26.0	22.0	33.3	20.0		N	○		3	32257785
26	27.0	23.0	33.3	20.0		N	○		3	32257785
27	28.0	24.0	33.3	20.0		N	○		3	32257785
28	29.0	25.0	33.3	20.0		N	○		3	32257785
29	32.0	28.0	33.3	20.0		N	○		3	32257785
30	32.0	29.0	33.3	20.0		N	○		3	32257785
31	32.0	30.0	33.3	20.0		N	○		3	32257785
合計		933	27.0	81.7	21	5.3	107	34.6	6	23.5
平均		30.4	26.3	26.3	6.9	34.6	20.7	13	2.4	5.1

連載小説

蒼氓

著者 石川達三

15

助監督は荷物整理の手伝いを終つたところで孫市に来るのである。

「駄目でしょ、うそ、そりやあ」と彼は云つた。もう孫市とは話はしたくなかったし、一緒に航海するだけでも憂鬱なのだ。なるべく話を短くして了うように彼はあっさりとこう云つた。

「二、三年は大抵ちつとも残らないでしょ」孫市は胸巻に二百円は持つていたが、それだけでは何とも仕様がない。今更ながらブランジルの夢が遙くばやけて行く様な淋しさに、行李を轍る腕に力が入らなかつた。そして姉はやはり昨夜のまま静かな様子をしている。それが一層弟には苦しかつた。

夕食後、最後の買物を終り、最後の外出から帰つて来ると、これが日本に於ける最後の夜である。この夜を充分楽しむために、消燈は特に十一時まで延ばされた。

早くから三浦さんの唄声が聞えて来た。彼は昨日一日で風邪を治して了つたのだ。彼の歌が始まるとそのあたり五、六室が陽気に明るくなる様があつた。その歌を聞くと元氣づいた天泉さんは、さあ、今夜は愈々お別れた、と云つて四合瓶を三本までも

に掲げていた。一年経つたう姉を送つて帰る事が出来るのはどうかといつた。

膝の前に並べた。鶴もうんと用意してあつた。麦原さん、勝治、孫市も冷酒の相手をさせられた。

「こつちも一つ唄うべ。な、佐藤さん」大泉さんからこう言われても孫市は唄う心になれなかつた。姉が窓際に坐つていて、静かに月と港を見つめている。背に結んだエスリンの帯に蝶がパッとわれる。

麦原さんの娘は小さな弟と二人で静かに収取りをして遊んでいる。大泉さんの息子はにこやかな母の肩を揉んでいる。

「うちの人はなし」と麦原さんの女房が言った。

「酔えば追答聞いて、きかねんし」「ほう、こりや何としても聞かねばなんね。さ、早く酔つて聞かへでたもれ」そして、大泉さんは相手のアルミニュームのコップにみなみと酒をついだ。遠い室からハモニカの合奏が聞えて来た。勝田さんの室では監督や助監督まで加わり近所の若い衆も集めて教習多か始まり、マンドリンも鳴つていて、どこかの室ではやつはつと掛け声をかけて來た。勝田さんが腰かけて口笛を吹く青年、蕩然とした歡樂の夜であるように見えた。

けれども既に出船の迫つた落付かないものがかかる闇にひそんでいた。唄つている連中でも、醉つている青年でも、室から一步廊下に出ると、ふと妙にしんとしたものを感じ、思わず唄をやめて自身をふりかえて見る。すると吹き溜りに落ちた枯葉

の寂寥か、意外に冷やかに胸にしめるのである。すると、その時に跟つて他人の明声がむしろ耐え難く、しらじらしい物に思われるのであった。けれども、樂は尽きなかつた。落莫としたものを感じれば感する程缺て酒を求め、哀愁が深ければ深いほど猶お互に醉、こみたかつた。これは弱い心であつた。祇の淋しさに耐え得ずして、友達と酒にことをよせ、手を握り度い、いわば少し自棄氣味な酒であつた。それ故に樂はともすれば乱調子な興奮状態に向つて進んで行つた。三浦さんはどうしてもハ木節を歸るんだと云つて、ふらふらと踊り出すと忽ち廊下の窓硝子を叩き壊してしまつた。どこかの室では若者か廊下に飛びたして相撲をとると、行司になる器用な辭藻もあって見物か近前の室からどぞと出て來たりした。

中には斯うした亂麻な夜愁も知も感じない男もいた。黒川さん等はこれであつた。米穀不良の子が死にかけているのをよそに、皆と一緒に騒ぐのが轟しくて碌々残つていられない財布をはたいて酒をのんだ。孫市は廊下のはずれに姉と二人で立つてゐた。窓の下からハモニカが聞こえて来て、トア、ホテルの尖塔に明るい灯がついてゐるのが見えた。弟は姉の方に顔を近寄せて、ひどく酔つた酒臭い息をしなかうもつれる舌で言つた。

「一年たつても帰れなかつたら何としたらええべ?」姉ちゃんは早く帰らねばなんねもんなあ、弟の方が丈が高くて、姉は他の事でも考へてゐる様にうつとりと外の闇を眺めていた。

「御免してけれな」と弟は声をふるわせて言つた。

「姉ちゃんは、危にだまされたもの同じだ」近所の室から(ここは御園を何百里)の台唱が起つた。通りかかる酔っ払いが二人の前にぬつと立ち不意に命懸かし恋せよ(女)と歌い出した。その酒臭い廊下を白い診察着の医者が看護婦を連れて、三階の二十一号室に入つて來た。肺炎の子が

孫市は姉に詫び姉を口説いて、結局は庄上戸のようにながら「おりやもう、これ以上わかままする気んすれねえ、姉ちゃんのええ様にしてけれども、姉ちゃんの云う通りにすっから俺に命令してけれども」と言つて、良くなしのだ。

姉の方はやはり何の表情も見せず、「お前のええようにはせはええ」と言つた。それは郷里の村で、雪の夕方の井戸端で弟に最後の決心を迫られた時と同じ様子のお夏であつた。頬の赤い、二十三の紡績女工であつた。

「御免してけれ、その代りおりや、死ん身になつてからから、きつと、一日も早く帰るからな」巡回のまゝな制服の所員が階段を昇つて来て、消燈ですよう、と言ひながら、まだ寝つてゐる酒宴の室々のスイッチを切つて歩いた。「散々に姉を口説いた孫市は酔つたままで他愛もない朝日だーーと思つた。最後の夜が終つたのだった。姉は廊下に横になつたまままで寝た。お夏は独り、はつと吐息をついて眼を開いた。それから寝台の上に腹這になつて、廊下からの電燈のほの明るさを頼りに、今一度黒川さんに手紙を書き始めた。

三十五日、最後の日、うす雲りして北風の吹きすさぶ朝があつた。眼を覚ますとすぐ、まだ床の中に横になつたままで麦原さんの女房が言つた。

「ああー、しつまんでも此處に居られたうえかべぬ

・シヤン・ノ製植木鉢
・多量に入荷して居ります。
大小いろいろ、蘭協会員の方でたくて
も会員同様特価で差し上げます。

今流行のサンバイアとか高級多年生草本の草花には是非とも必要なシャンシンの鉢です
多量に入荷して居りますので、安価に差上げます

車椅子(新品)

くるまいす

足がわるくて歩けぬ人

車輪を手で廻わせば

前進、後退自由です

都合により御入用の方に

おゆずり致します

○ 御一覧ください

求む外交員

今回事業を拡張致しましたので、店舗用の装

飾棚も製作して好評を戴いて居りますが、この

装飾棚を各都市の店舗から註文を取つて下さる

外交員を至急に求めます。年令と経験の有無は問いませんが、多少の日伯両語を解する

方を望みます。御希望者は御来訪下さい
ルアーフィンデンテヴァルガス四四二番 電話三〇六番

吉川製作所

織

田

御しらせ

おしらせ

今年七月の入植祭の 手芸品展へ 明老会出品いたします

くわしいことは次回におしらせ
いたしますから、

出品のご用意下さい。

バストス明老会

始めて居ります。この機会に団体で御申込になりますと、手続料が安くなりますので、なるべく団体で帰化なさるようにおすすめ致します。詳細は当事前でお尋ねください。

カルティラ・デイデンチダテ

今までカルティラ・デイデンチダテは十八歳以上の方に必要でありましたが、今度の新法令に依り十四歳以上となりましたので、十四歳になられた子供さんは是非カルティラを取得しなければなりません。早速当事務所で手續をして下さい。

ツッキデカシマス街ロドビアリオ前

森重法律会計事務所

電話二〇〇番及び四六一一番

市役所より御通知

此の度びカーザ・デ・アグリクルツラ、
デ・バストスに於いて

農業技师

Dr. セルト レイテ デ・カント先生
を迎えて講習会を催すことになりました
した。この講習会は二つの議題に分
かれています。

五月九日から十三日まで、は
ト・ラ・ツ・トリ・ス・タの講習会です。

是非とも受講下さい

場所カーザ・デ
アグリクルツラ・バストス

CURSOS GRÁTIS-LOCAL: CASA DA AGRICULTURA DE BASTOS MINISTRADO PELO ENGº AGRº CELSO LEITE DO CANTO

P/ TRATORISTAS 3(três) itens: Dia: 09 à 13.05.77

- a)-Conservação de solo.
- b)-Manutenção de maquina.
- c)-Regulagem de implementos.

FERTILIZANTES DO SOLO:- Dia: 23 à 27.05.77

- a)-Importância de análise do solo.
- b)-Interpretação da análise do solo.
- c)-Adubação folhear.

Obs.: Inscrição na Casa da Agricultura de Bastos

此の度びカーザ・デ・アグリクルツラ、
デ・バストスに於いて

農業技师

五月二十二日から二十七日までは
土壌と肥料についての講習です。

是非とも受講下さい

9

死 亡 通 知 並 に 会 花 斧 御 禮

前妻、西谷ツタエ、六十六歳、既て病氣、身中の心葉石効なく去る四月十八日午後八時過に永眠いたしました。依って翌十九日午後五時半自宅出棺バスストス墓地へ埋葬いたしました。

此の儀生前御交説を戴きました旨様へ謹んで御知らせ申上げます。

尚、葬儀に際しましては御多忙中の近遠路お厭いもなく懇々御会葬下され、その上御鄭重にも過分なる御香料並びに御供花等御手向け頂き、誠にありがとうございました。御私申上げます。

実は一々御迴礼申し上げ様肩の上御札の御挨拶申し上げねばなりませんが、取込中に其の意を得ませず、誠に勝手乍ら略儀紙上を以つて取扱えず御礼申上げます。

一九七七年四月二十日

バスストス中央 第五区

喪主

古

谷

簡

長男

次

長

次

男妻

男

男

男

妻男

妻

妻

妻

男夫

夫

夫

夫

女夫

夫

夫

夫

全葬者御・一

同

POSTUMA DE A.C.M.W.

コチア、スペルメルカード事務所

FERNANDO FACCATI, TECNO

サンジョゼー商業卒業生一同

夫一真同才ナ雄江真江光子治子昇夫子勉

市明子廣子子治子昇夫子勉

岩文久美エリ

内谷野一田川原房正

高時

コチア、スペルメルカード事務所

POSTUMA DE A.C.M.W.

サンジョゼー商業卒業生一同

夫一真同才ナ雄江真江光子治子昇夫子勉

市明子廣子子治子昇夫子勉

岩文久美エリ

内谷野一田川原房正

高時

コチア、スペルメルカード事務所

POSTUMA DE A.C.M.W.

サンジョゼー商業卒業生一同

夫一真同才ナ雄江真江光子治子昇夫子勉

市明子廣子子治子昇夫子勉

岩文久美エリ

内谷野一田川原房正

高時

コチア、スペルメルカード事務所

POSTUMA DE A.C.M.W.

サンジョゼー商業卒業生一同

夫一真同才ナ雄江真江光子治子昇夫子勉

市明子廣子子治子昇夫子勉

岩文久美エリ

内谷野一田川原房正

高時

コチア、スペルメルカード事務所

POSTUMA DE A.C.M.W.

サンジョゼー商業卒業生一同

夫一真同才ナ雄江真江光子治子昇夫子勉

市明子廣子子治子昇夫子勉

岩文久美エリ

内谷野一田川原房正

高時

